



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月1日

上場会社名 FCM株式会社

上場取引所 東

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成29年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,119	28.8	161	59.4	162	65.9	108	67.9
29年3月期第2四半期	8,632	21.1	101	80.0	98	80.6	64	80.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	63.84	
29年3月期第2四半期	38.02	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	11,863	4,152	35.0	2,437.49
29年3月期	10,811	4,079	37.7	2,394.70

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 4,152百万円 29年3月期 4,079百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		32.00	32.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,707	4.3	313	9.2	305	9.1	195	9.5	114.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	1,704,267 株	29年3月期	1,704,267 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	534 株	29年3月期	534 株
----------	-------	--------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	1,703,733 株	29年3月期2Q	1,703,733 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は売上高11,119,980千円(前年同期比28.8%増)、営業利益161,980千円(前年同期比59.4%増)、経常利益162,954千円(前年同期比65.9%増)、四半期純利益108,771千円(前年同期比67.9%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は3,501,634千円(前年同期比15.3%増)となりました。パワーエレクトロニクス関連や自動車部品向け、医療機器向けなどが順調に推移しています。民生関連ではスマートフォン・タブレット端末向けのコネクタ・端子類の引き合いも強く、生産能力の増強で対応しています。新設の加工装置の稼働も安定し始め、計画を一部前倒しすることで受注を消化している状況ですが、特に狭ピッチコネクタ向け製品などで規格や品質・コストに対する要求が厳しくなっており、当該セグメントの経常利益は36,102千円(前年同期比22.4%減)となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、売上高は7,618,346千円(前年同期比36.2%増)となりました。国内銅建値が前年同期に比べて高水準なため、売上高、材料費ともに大きく増加しました。当セグメントの主力である建設・電販向けを中心に、通信線・汎用線や非電線分野でも計画通り順調に推移しており、当該セグメントの経常利益は126,851千円(前年同期比145.6%増)となりました。

売上高

単位(千円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	3,037,684	35.2%	3,501,634	31.5%	15.3%
電気機能線材事業	5,595,149	64.8%	7,618,346	68.5%	36.2%
合計	8,632,833	100.0%	11,119,980	100.0%	28.8%

加工売上高

単位(千円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	1,514,867	73.8%	1,619,976	72.0%	6.9%
電気機能線材事業	538,637	26.2%	631,204	28.0%	17.2%
合計	2,053,504	100.0%	2,251,180	100.0%	9.6%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する説明

(貸借対照表の状況)

総資産は11,863,453千円となり、前事業年度末に比べ1,051,822千円増加しました。これは現金及び預金が437,385千円、受取手形及び売掛金が722,002千円増加したことと、機械及び装置が126,488千円減少したことなどによるものです。

負債合計は7,710,621千円となり、前事業年度末に比べ978,919千円増加しました。これは買掛金が877,162千円、退職給付引当金が41,324千円増加したことと、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金や長期借入金があわせて47,956千円減少したことなどによるものです。

純資産は4,152,831千円となり、前事業年度末に比べ72,903千円増加しました。これは、当第2四半期累計期間の四半期純利益と剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の増加を反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて437,385千円増加し、566,622千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、619,580千円の収入(前年同四半期累計期間は269,886千円の収入)となりました。主な収入は税引前四半期純利益164,454千円、減価償却費256,250千円、仕入債務の増加額877,162千円であり、主な支出は売上債権の増加額722,002千円と法人税等の支払額54,072千円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出78,256千円などにより79,717千円の支出(前年同四半期累計期間は739,093千円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額200,000千円、長期借入金の返済による支出247,953千円、配当金の支払額54,522千円などにより102,478千円の支出（前年同四半期累計期間は411,825千円の収入）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間においては、国内銅建値の上昇による電気機能線材事業での売上高の増加と、電子機能材事業での新設の加工装置の本格稼働が重なり、当初の予想を若干ですが先取りする結果となりました。

第3四半期以降は、電気機能線材事業が引き続いて堅調な見通しとなっています。電子機能材事業で計画の一部前倒しがあったものの、事業年度を通じては、おおむね当初の予想通りの着地となる見込みです。

その結果、平成30年3月期第2四半期（累計）では売上高、利益とも当初の予想を上回ることとなったため、業績予想の修正をすることといたします。詳細については、平成29年11月1日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、平成30年3月期通期の業績予想と配当予想については変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	129,237	566,622
受取手形及び売掛金	4,978,400	5,700,402
仕掛品	472,603	422,324
原材料及び貯蔵品	493,569	526,815
繰延税金資産	17,303	16,673
その他	16,013	52,926
流動資産合計	6,107,127	7,285,764
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	979,311	938,588
機械及び装置(純額)	1,381,270	1,254,781
土地	1,863,981	1,863,981
建設仮勘定	14,617	33,157
その他(純額)	254,058	239,122
有形固定資産合計	4,493,239	4,329,632
無形固定資産	16,292	22,365
投資その他の資産		
投資有価証券	27,470	54,363
繰延税金資産	154,508	159,605
その他	12,991	11,720
投資その他の資産合計	194,970	225,690
固定資産合計	4,704,503	4,577,688
資産合計	10,811,630	11,863,453

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,084,408	3,961,571
短期借入金	100,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,395,992	1,376,000
未払法人税等	64,965	81,576
役員賞与引当金	2,300	-
その他	292,673	386,751
流動負債合計	4,940,340	6,105,898
固定負債		
長期借入金	1,232,463	1,004,499
退職給付引当金	487,183	528,508
その他	71,715	71,715
固定負債合計	1,791,362	1,604,722
負債合計	6,731,702	7,710,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,566,828	2,621,080
自己株式	△1,247	△1,247
株主資本合計	4,080,201	4,134,452
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△272	18,378
評価・換算差額等合計	△272	18,378
純資産合計	4,079,928	4,152,831
負債純資産合計	10,811,630	11,863,453

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,632,833	11,119,980
売上原価	7,874,336	10,286,599
売上総利益	758,496	833,381
販売費及び一般管理費	656,872	671,400
営業利益	101,624	161,980
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	565	600
助成金収入	144	—
受取賃貸料	2,154	2,154
スクラップ売却益	315	990
固定資産税還付金	—	3,389
その他	2,137	2,598
営業外収益合計	5,320	9,738
営業外費用		
支払利息	4,230	4,658
売上割引	2,595	2,687
賃貸費用	1,044	507
その他	877	911
営業外費用合計	8,747	8,764
経常利益	98,196	162,954
特別利益		
固定資産売却益	—	1,499
特別利益合計	—	1,499
特別損失		
固定資産除却損	1,417	0
特別損失合計	1,417	0
税引前四半期純利益	96,779	164,454
法人税、住民税及び事業税	35,787	67,785
法人税等調整額	△3,774	△12,102
法人税等合計	32,012	55,683
四半期純利益	64,767	108,771



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	96,779	164,454
減価償却費	213,091	256,250
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,200	△2,300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	30,674	41,324
受取利息及び受取配当金	△569	△605
支払利息	4,230	4,658
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,499
固定資産除却損	1,417	0
売上債権の増減額 (△は増加)	332,586	△722,002
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△121,340	17,033
仕入債務の増減額 (△は減少)	△146,670	877,162
その他	△29,140	43,221
小計	371,858	677,697
利息及び配当金の受取額	569	605
利息の支払額	△4,337	△4,650
法人税等の支払額	△98,205	△54,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,886	619,580
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△616	△606
有形固定資産の取得による支出	△729,152	△78,256
有形固定資産の売却による収入	—	7,380
無形固定資産の取得による支出	△8,588	△8,404
その他	△737	170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△739,093	△79,717
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	200,000
長期借入れによる収入	680,000	—
長期借入金の返済による支出	△183,762	△247,956
配当金の支払額	△134,412	△54,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	411,825	△102,478
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△57,381	437,385
現金及び現金同等物の期首残高	176,671	129,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	119,290	566,622

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,037,684	5,595,149	8,632,833
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,037,684	5,595,149	8,632,833
セグメント利益	46,553	51,643	98,196

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,501,634	7,618,346	11,119,980
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,501,634	7,618,346	11,119,980
セグメント利益	36,102	126,851	162,954

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。